

【埼玉県立大宮工業高等学校×伊田グループ】「建築施工」(3年)の授業

協力:伊田テクノス(株)・東和アークス(株)

あなたが建築工事の担当者だったら? 【応用編その①】~現場トラブルの予測と対応~

【地盤改良工】を実施

「セメント改良材」3袋を11/2(土)搬入 ⇒ 11/5(火)に改良



~工事現場のスケジュール~

11/2(土)	11/3(日)	11/4(月)	11/5(火)
搬入日	文化の日	振替休日	施工日
天気 晴れ 20°C 降水確率 30% 風速2m/s	曇り 18°C 降水確率 50% 風速2m/s	曇り 17°C 降水確率 40% 風速2m/s	晴れ 17°C 降水確率 20% 風速8m/s
	休日		

~現場環境・条件~

- ①改良材 3袋搬入
- ②荷降し機材(BH)アリ
- ③交通誘導員必要
- ④朝一から改良開始

【現場周辺の様子】

- ①:会社・アパート・戸建て・保育園アリ
- ②:前面道路は片側二車線分離帯アリ
- ③:8~9時は保育園の送迎のピーク

【事前情報】

以前に保育園から騒音クレームアリ

☆現場で『トラブル』は付き物 ⇒ 事前に予測すればトラブルは【回避】できる!

★【どの様なトラブルが起きそうか】・【その対策】を考えて発表しよう!

問:あなたが現場担当者だったらどうしますか?

- ①改良材搬入や施工時に考えなければならないことをまとめてください
- ②どの様なトラブルが起きそうか・その対策をまとめてください(グループワーク)
- ③予測されるトラブルとその対策を発表してみましょう

【トラブルシューティングの際のPOINT】

- ・施工日の作業がしやすいようにするためには事前に対策が必要である
- ・近隣トラブルがないよう対策を考えるだけでなく実際にトラブルが起きた場合の対応も考えておく
- ・天候や気象条件を予測して複数の対策を考えなければならない

【指導の工夫・教師の実感】

- ・生徒には工事現場で起こり得るトラブルを色々な角度から予測することやその対策は複数考えられることを巡回しながら説明をする。
- ・天候や気象条件で近隣トラブルがないよう対策を考えるだけでなく実際にトラブルが起きた場合の対応も考えておくように促した。
- ・前回「基礎編」を体験しており生徒は状況を把握する力/判断力/対応力が想像以上に身に付いていて授業を通し生徒の成長が感じられた。

【授業の流れ】



展開① トラブルの予測とその対応



展開② 先輩から対策の実例紹介